



家族の協力で進む馬鈴薯の植付け作業

雪解けが遅く、低温が続く天候で、農作業の遅れが心配されていますが、畑の土もようやく乾き、本格的に、戸外での農作業が始まりました。

高台は本村の畑作地帯であり、てん菜、馬鈴薯、豆類などの作付けが多い地区です。

五月五日、春のさわやかな天気の中、高台地区では農家の皆さんが、てん菜の定植や馬鈴薯の植付け作業を行う姿があちらこちらで見られました。

香川の上埜則雄さんの畑でも、男爵いもの植付けが行われており、今年も、二・五畝の作付けを行い、八月下旬には、収穫が始まる見込みという事です。

この日は、学校も連休中とあって子供さんも協力して、家族総出の作業が続いていました。

農家の皆さんの努力が報われ、消費者においしく品質のよい洞爺村の農産物がたくさん届く豊穡の秋となることを期待しています。

高橋紗帆さんから6名を表彰

洞爺村文化・スポーツ表彰式

平成十七年度洞爺村文化・

スポーツ表彰式が洞爺村開拓

記念の日の五月十日に洞爺村

総合センターで開かれ、六人

が文化奨励賞、文化振興賞を

受賞しました。
午前十時のサイレンとともに開拓に携わってこられた先人たちに敬意を表し、黙とう

をささげました。

表彰式では、蓮井勇教育委

員長より「皆さんは、村民憲章の実践者です。文化的な感性、文化を大事にし、そして

自分を高めていく。そういったことが地域貢献につながっていくと思います。」と式辞を述べた後、受賞者一人ひとり

に表彰状と記念品を授与しました。

受賞を代表して矢野貞信さんから「今日は、百十八年前

に開拓の第一歩をしるした日です。微力ではあるが地域づくりのために何かやりたいという思いでやってきました。

地域をよりよくしていくために、これからも精進していきたい。」と謝辞が述べられました。

受賞者は次の方々です。

文化奨励賞

〔児童生徒の部〕

高橋 紗帆さん

洞爺小五年



平成元年より洞爺村文化協会の事務局長、平成十四年より副会長として文化協会の発展のため尽力し、本村の文化

平成十三年四月より洞爺児童美術研究所（大島忠昭さん

主宰）にて指導を受け現在に至る。

平成十七年第五十回全日本

学生美術展で油絵十号作品「枯れたひまわり」にて佳作賞を受賞された。（平成十四、十五、十六年度連続受賞）

京谷うめ子さん

美沢西



文化振興賞

〔一般の部〕

村上 隆昭さん

美沢西



昭和五十四年十一月に設立された、読み聞かせたんぽぽの会会長として、平成元年から平成十三年までの十三年間会の運営にあたり会員の育成に努められた。
村民文化祭をはじめ、月例の読み聞かせ会、クリスマス会など村内の数多くの子どもたちに夢を与え、「図書室子どもまつり」や「家庭教育セミナー」への協力など、村の読書普及活動に尽力し、本村の文化振興に大きく貢献されている。



蓮井教育委員長から表彰状を贈られる矢野さん

塩田 直美さん

四町内



昭和六十年「フラワービーンズ」の初代会長として会の設立にあたり、本年二月、二十周年を迎えたサークルの通算十二年間、会長として会の運営にあたり会員の育成に努められた。

二十回続いた発表会、近隣町村の交流コンサートや村内の各種行事に積極的に参加し、本村の文化振興に大きく貢献されている。

渋谷 待子さん

札幌市



平成六年七月に設立された

「むらびと踊る社中」の指導者として、よさこいソーランの振り付け等の指導にあたりその普及活動に努められた。

札幌の本祭りや近隣町村のイベントや村内各種行事に積極的に協力し、本村の文化活動の発展並びに地域振興にも大きく貢献されている。

矢野 貞信さん

大原



香川県から開拓団が初めて入植した場所、初霜山に石碑を建立（平成六年八月）し、その後周辺を整備され、大原小学校はじめ村内小学校の授業等に開放し、さくらんぼ狩り等児童の体験学習の充実、推進に貢献されている。

学校教育の充実に

北野ミヤ文庫

有限会社メジロ牧場並びにメジロ商事の会長であられました故北野ミヤさんの遺志で、「遺族の方より、学校教育の充実のために活用してほしい」ということで、多額の金員の「寄付をいただきました。（昨年広報7月号掲載）

洞爺村では、故人の遺志に沿い、子ども達のために図書を購入して「北野ミヤ文庫」を設置し、各小中学校で授業、読書活動等に使用させていただいております。



揃えられた「北野ミヤ文庫」



読書をする子どもたち

農業委員会委員定数条例の一部改正など 原案どおり可決

第三回洞爺村議会臨時会が、五月三十日に開かれました。会期を一日と決めた後、村長が行政報告を行い、農業委員会委員定数条例の一部改正、村税条例の一部改正など、議案四件が原案どおり可決、承認されました。

村長行政報告

▽洞爺村国際彫刻ビエンナーレ二〇〇五応募状況並びに第一次審査結果について

本年度第七回目の開催となりました同事業について、全世界に向け開催PRを行ってきたところであります。その結果四月三十日の締切りまで、次のおり作品募集があり、前回の六百三十三点を若干下回りましたが、それでも六百点の応募があり、ま

ります。
・第二 第一次審査の結果
(通過作品数：二十九国六十点
国内：二十八点
国外：十九国三十二点

たアルバニアから初の参加も得て、洞爺村国際彫刻ビエンナーレの評価が国際的に定着したものと考えているところがあります。
・第一 作品応募状況(応募総数：六十二万六千六百点
国内：三百七十四点
国外：六十一万九千二百二十六点

これらの作品審査を去る五月二十四日、東京都内の千代田放送会館においてスライドにより第一次審査をしたところでありましたが、審査を通した作品数は次のとおりであ

点
職員自らの健康上の理由や家族の介護等の事情から、本人が希望すれば後任できる「洞爺村職員希望降任制度」を創設いたしました。

この制度は、職員の降任に関する希望を尊重し、職員の勤労意欲の向上及び組織の活性化を図ることを目的に制度化したものであります。
降任を希望することができない職員は、係長以上の職にある者を対象として実施するものであります。

この制度は、職員の降任に関する希望を尊重し、職員の勤労意欲の向上及び組織の活性化を図ることを目的に制度化したものであります。
降任を希望することができない職員は、係長以上の職にある者を対象として実施するものであります。

▽消防の広域再編について

伊達市と西胆振消防組合との消防広域再編につきましては、昨年八月六日に構成町村長会議におきまして、伊達市を含めた消防広域再編に向けた検討協議を進めることで合意されたところであります。

これを受けまして、平成十六年十二月十四日、伊達市と「消防広域再編の協議に関する確認書」を正式に取り交わし、「西胆振消防組合・伊達市消防広域再編協議会」を設置し、広域再編に向けた協議を開始

いたしました。

再編に伴う主要な協議項目及び重要事項等の協議・調整につきましては、構成町村の助役会及び両消防本部の事務レベルでの部会等で協議し、協議された事項については、関係市町村長会議の了承を得、西胆振消防組合・伊達市消防広域再編協議会で最終決定される流れとなっております。決定された事項については、西胆振消防組合議会において、報告されるものであります。
現在のところ、再編に伴う重要事項について、幹事会並びに各専門部会で協議中と聞いておりますので、逐次、議会や村民のみなさんへもご報告申し上げてまいりたいと存じます。

専決処分

▽平成十六年度洞爺村一般会計補正予算

（特別地方交付税 補助金等の金額確定等に伴うものです。）

▽平成十六年度洞爺村老人保健特別会計補正予算

（社会保険療養給付費交付金の次年度精算による歳入不足に伴うものです。）

▽洞爺村税条例の一部を改正する条例

（地方税法、所得税法等の一部改正に伴う条例の改正です。）

条例の制定

▽洞爺村農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例の制定

（農業委員会等に関する法律の下限定数の廃止に伴い、十人から八人への定数削減を行うものです。）

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005

第一次審査会で60点の作品を選ぶ

今回で七回目の開催となる洞爺村国際彫刻ビエンナーレ

2005の第一次審査会が、五月二十四日に東京都内で行われ、応募総数六十二か国・

六百点の中から審査の結果、二十か国・六十点の作品が選ばれました。

審査会は、東京都内の千代田放送会館を会場として作品を写したスライドにより行われ、

慎重な審査の結果、二十か国から六十点の作品が選ばれた国内二十八点、国外三十二点の第一次審査通過作品が決定されました。

なお、第二次審査会は、七月二十六日に総合センターにおいて実物作品により行い、大賞などの受賞作品が決まります。

また、八月一日から八月三日までの三日間、F氏賞を選ぶ村民投票をじっしいたします。詳細を次号の広報にてお知らせします。

また、八月一日から八月三日までの三日間、F氏賞を選ぶ村民投票をじっしいたします。詳細を次号の広報にてお知らせします。

また、八月一日から八月三日までの三日間、F氏賞を選ぶ村民投票をじっしいたします。詳細を次号の広報にてお知らせします。

また、八月一日から八月三日までの三日間、F氏賞を選ぶ村民投票をじっしいたします。詳細を次号の広報にてお知らせします。

また、八月一日から八月三日までの三日間、F氏賞を選ぶ村民投票をじっしいたします。詳細を次号の広報にてお知らせします。

また、八月一日から八月三日までの三日間、F氏賞を選ぶ村民投票をじっしいたします。詳細を次号の広報にてお知らせします。

また、八月一日から八月三日までの三日間、F氏賞を選ぶ村民投票をじっしいたします。詳細を次号の広報にてお知らせします。



左から
審査員 名古屋芸術大学教授 浅野 徹氏
東京芸術大学名誉教授 澄川 喜一氏
世田谷美術館館長 酒井 忠康氏
札幌芸術の森美術館館長 奥岡 茂雄氏
審査委員長 北海道美術館学芸員研究協議会会長・前札幌芸術の森美術館館長 笹野 尚明氏



集計作業をする企画50人委員の皆さん

第1次審査通過作品 出生国別一覧表

国名	数	国名	数
1 日本	28	11 フランス	2
2 アメリカ	3	12 ブルガリア	2
3 ルーマニア	3	13 イラン	1
4 アルゼンチン	2	14 エジプト	1
5 イスラエル	2	15 韓国	1
6 イギリス	2	16 コロンビア	1
7 イタリア	2	17 ドイツ	1
8 タイ	2	18 ベルギー	1
9 チェコスロバキア	2	19 メキシコ	1
10 ハンガリー	2	20 リトアニア	1



こんな事業に 取り組んでいます

総務課

今年、香川県財田町との姉妹町村盟約30周年を迎えます。
 この30年間、お互いに訪問を行い、姉妹町村少年交流事業や、文化・スポーツ交流など多彩な交流を続け、友好を深めてきました。
 両町村では、30周年を記念して、町・村民ツアーや各種の記念事業を計画しています。本号の広報では事業の概要について、村民のみなさんにお知らせすることとします。

洞爺村・財田町姉妹町村盟約30周年記念事業の概要

◇ 財田町民受入れ事業

産業まつり町民ツアー	夏まつり町民ツアー
☆ 6月25日、26日の2日間、洞爺村に滞在して、45名の財田町民のみなさんが洞爺村産業まつりに参加します。	☆ 7月30日、31日の2日間洞爺村に滞在して、45名の財田町民のみなさんが洞爺夏まつりに参加します。

◇ 財田町訪問・その他記念事業

姉妹町村30周年記念式典事業	財田町訪問ツアー
☆ 10月中旬に財田町で開催される財田町文化祭への参加と文化団体との交流を図ります。また、財田町で行われる記念事業へも参加していただきます。	☆ 記念事業として、広くみなさんに参加を募り、財田町との民間交流を深めていただきます。開催時期、応募方法はあらかじめ村広報などでお知らせします。
伝承文化里帰りツアー	記念樹木等贈呈事業
☆ 「獅子舞」や「ちょうさ」など、四国から伝承された文化を里帰りさせ、交流を深めていただきます。 時期は、10月7日に開催される銚八幡宮例大祭を予定しています。	☆ 盟約30周年を記念して、現在、財田町で造成中のパークゴルフ場に記念樹及びパークゴルフ用具一式を贈ることとしました。贈呈時期は、10月頃を予定しています。

以上の記念事業を予定していますが、訪問ツアーの申込み方法など、各事業については、あらかじめ村広報紙等でお知らせする予定です。

こんにちは、あかちゃん



はると
大西 悠翔くん

☆平成16年11月19日生まれ
☆長男 ☆成香

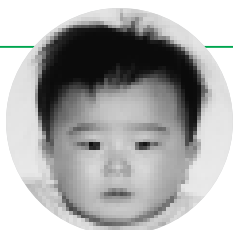
お父さん お母さん
拓さん 珠美さん

何かにとらわれることなく、悠々とほばたいて欲しいという願いを込めて名付けました。

おかあさんからひとこと



元気で人を思いやれる子に育てて欲しいです。



ゆうすけ
高橋 勇佑くん

☆平成16年10月15日生まれ
☆長男 ☆成香

お父さん お母さん
明宏さん 典子さん

お父さんが、画数を調べて名付けました。

おかあさんからひとこと



元気でたくましい子に育てて欲しいです。



かつふね
館江 克船くん

☆平成16年10月1日生まれ
☆長男 ☆成香

お父さん お母さん
弘明さん 佐和子さん

いい子に育ちますようにという願いを込めて名付けました。

おかあさんからひとこと



いっぱい遊びましょう。



ゆうせい
傅 雄晴くん

☆平成16年12月15日生まれ
☆次男 ☆美沢西

お父さん お母さん
俊二さん かなえさん

明るくやさしい子になって欲しいという思いから名付けました。

おかあさんからひとこと



健康で誰にも好かれる子になってほしい。



りゅう
京谷 流羽くん

☆平成16年11月26日生まれ
☆長男 ☆6町内

お父さん お母さん
好高さん 麻衣子さん

「流」という字を使ったかったので、画数を合わせて名付けました

おかあさんからひとこと



病気をしないで、元気に育ててほしい。



なつき
山本 那月ちゃん

☆平成16年11月21日生まれ
☆長女 ☆成香

お父さん お母さん
和久さん 史子さん

「那」は、まわりの人を和やかにさせるように、「月」はお父さんが好きな字で、組み合わせて名付けました。

おかあさんからひとこと



楽しいことを、たくさん見つけてほしい。



植樹に協力いただいた皆さん



苗木を植える穴を掘る子どもたち



湖畔を走りぬけるランナー



しっかり育つよう丁寧に植込む

村民植樹祭

財田遊歩道沿いで植樹

五月二十一日、雨で一週間延期となっていた村民植樹が財田遊歩道沿いで行われました。

村では、将来、皆さんにとって安らぎの森林となるよう村民の協力を募り、三年連続して財田親水公園内や公園に続く遊歩道沿いに、植樹を行ってきました。

今年では四年目となり、集まった四十数名の村民の皆さんは、イタヤカエデ、ヤマモミジなど合わせて四十二本を植えました。

場所によっては、植え込む土に石がらがあつて、スコップのほかにつるはしを使い、大きめの穴を掘り、腐葉土を混ぜ、水を十分に入れるなど、協力しながら植えていました。

終了後には、それぞれ持参したおにぎりのほか、恒例のジンギスカンや焼きそばが用意され、五月日和の空の下、参加者全員で昼食を取り、労をねぎらいました。

洞爺湖マラソン

ランナー続々通過

五月二十二日、室蘭地方陸上競技協会、虻田町、洞爺村などの主催で「洞爺湖マラソン2005」が行われ、洞爺湖畔を一周するマラソンをはじめ十キロ、五キロ、二キロの各コースに四千二百二十一人が出場しました。

このうち、一周マラソンには道内外の二千二百二十一人が参加しました。午前十一時半過ぎ頃にはから洞爺村市街地を続々とランナーが通過して洞爺湖温泉のゴールを目指しました。毎年のように参加している村からの参加者も通過し、見事に完走していました。



葉と混ぜて煮る、粉石けんの重さを調整



ヨモギを集める子どもたち



すき枠を引き上げ、乾かすと紙ができます



ヨモギの葉をハサミで細かくします

当日は、野外スポーツには、暑すぎるほどの天候であったため、洞爺村市街地を歩いたり、止まってからだを休めるランナーも多く見られました。

設置された給水所では、次々に訪れるランナーのために、村内のボランティアの皆さんが水やバナナを用意するなど、マラソン大会を陰で支える姿がみられました。

また、沿道では住民の皆さんの拍手や声援に心えて、「バナナおいしい」と話したり、声援に手を振るランナーもいました。

野草で紙づくり

財田自然体験ハウス

洞爺財田自然体験ハウスでは、毎月各種自然体験事業が実施されています。

五月二十八日には、ヨモギの葉を利用した紙づくりが行われました。

参加した子供たちは、スタッフの説明を聞き、湖畔で

ヨモギの葉を集める、水と粉せつけんを入れてやわらかく煮る、洗いおけに浸したすき枠に注ぐ、枠からはずして乾かすなどの行程を体験し、はがき大の少し緑がかった紙を立派に完成させていました。

今後も、次のような自然体験行事が予定されており、村内者は無料で参加できます。皆さんもぜひ気軽に参加してみてくださいいかがでしょうか。

六月十八日

…ネイチャーゲームで自然と遊ぼう

七月二十三日

…小麦・ふくらんでパン

八月二十日

…水辺の生き物探し(たからだ図鑑夏編)

なお、お申込み、お問い合わせは、洞爺財田自然体験ハウス(82 5999)までお願いします。



「Summer」を磨き上げる



農業指導を行う大西さん



彫刻のまわりも清掃



「風待ち」を“ごしごし”

家族で野菜づくり

市民農園開園

五月十四日、農業研修センターの市民農園が開園となりました。

当日は、風が冷たく四月上旬並みの気温でしたが、よく晴れていたこともあり、村内外から多くの利用者が訪れ、畑を耕し、様々な野菜の種や苗を植えるなど、畑仕事に精を出していました。

アグリ館・とれた内では市民農園利用者に豚汁がサービースされ、利用者は畑仕事で疲れ冷えた身体を温めていました。

なお、五、六月の日曜日には、洞爺村老人クラブの大西勝義さんが農業指導員として栽培技術の指導にあたりますので、植え方、肥料のやり方などでお困りの場合は、相談されてみてはいかがでしょうか。

ピカピカだよ

彫刻清掃ボランティア

「とうや湖ぐるっと彫刻公園」の彫刻清掃作業が、五月十四日、小学生から大人までのボランティア、三十八名が参加して行われました。

当日は、五月晴れに恵まれ、三班に分かれた参加者は、「夕日が見える渚公園」から「浮見堂公園」までの彫刻を持参したブラシや雑巾を使い一生懸命、磨き上げていました。

また、彫刻周辺のごみ拾いなども行い、和気あいあいと清掃作業に取り組んでいました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。これから訪れる観光客や村内の皆さんにきっと喜ばれることと思います。



そば粉をこねる英国青年と子どもたち



ターザンロープで遊ぶ子どもたち（財田キャンプ場）



そばの生地を打つ



大型連休でにぎわいをみせた財田キャンプ場

財田キャンプ場

大型連休中にぎわう

洞爺水辺の里・財田キャンプ場は、静かな湖畔の景観とキャンプサイトが整備されて利用客の人気を得ています。

今年も四月二十三日にオープンし五月の大型連休中には、フリーサイトに空きがあるものの五棟あるケビン、四十五区画あるオートキャンプサイトは、ほぼ予約でいっぱいとなりました。

五月五日の子供の日には、のんびり散歩を楽しんだり、スポーツ交流館でテニスをしたり、ターザンロープなどで遊ぶ家族連れや子供たちの姿が見られました。

また、隣接した財田自然体験ハウスを利用して、鳥の絵に色を塗ったり、バードウォッチングや施設を見学する利用者でにぎわっていました。

「そば打ち体験」

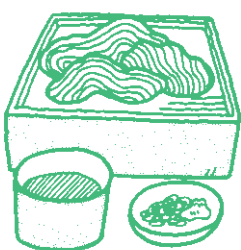
キッズベンチャー&生涯学習セミナー

五月二十一日、洞爺財田自然体験ハウスにおいて、「そば打ち体験」が行われました。

当日は児童六名、大人四名の合計十名が参加し、そば打ち同好会指導者の指導のもと、和気あいあいとした雰囲気の中で元氣よくそば打ちを行いました。

もちろん最後は、自分たちで打ったそばを茹で、ざるそばにして味わいました。

参加者の方々からは「おいしい！うまい！」という言葉が聞かれました。



虻田町情報コーナー

地場産品直売センター「あぶた」本格オープン

五月二十八日、虻田町の地場産品直売センター「あぶた」が、本格オープンしました。

この施設は虻田町で設置され、各種産業団体の代表でつくる「企業組合あぶた」が管理運営を行っており虻田産の農産物、水産加工品、花類、アイスなどを提供しており、農産物には生産者の情報が明示されています。

皆さんも、一度訪れてみてはいかががでしょうか。

■営業時間 午前九時から午後五時 ■定休日 毎週月曜日

■虻田町字入江八四―二 ☎七六―五五〇―

オープンした「あぶた」の外装



「あぶた」の真新しい店内

表彰

おめでとうございます

交通事故死ゼロ五百日

平成十七年五月二十一日、洞爺村交通安全村民運動推進委員会が社団法人北海道交通安全推進委員会より表彰されました。

皆さんの交通安全意識が結集され、五百日にわたり交通事故死ゼロを達成することができました。

これも、村民全体が一丸となって交通安全の推進にご協力いただいた結果であり、洞爺村の誇りとするものであります。

今後も交通事故等に十分ご注意をいただき、この記録をさらに更新できますよう交通安全を推進してまいります。

誕生

おめでとうございます

以西 生芽くん

父 隆一さん

母 水音さん

5月24日生まれ 長男

成香

近藤 勇人くん

父 一也さん

母 好枝さん

5月24日生まれ 長男

3町内

おくやみ

申し上げます

宇那木勇巳さん

5月5日死去 93歳

美沢西

松尾ミサヲさん

5月8日死去 86歳

成香